

1 放置された森と森林資源を利活用して「里山の森づくり」

1 社会資本の概要

柏原市立玉手山公園は大阪府柏原市にあり、近鉄大阪線 河内国分駅 徒歩20分、近鉄南大阪線 道明寺駅 徒歩15分の場所に位置しています。明治41年に創設された「玉手山遊園地」が前身で、平成11年3月に柏原市へ移管されました。総面積は、約68,000m²(約20,000坪)です。春は梅や桜、初夏は新緑とツツジ、秋には紅葉など、園内には自然が

いっぱいです。また、アスレチック風の大型組み合わせ遊具や、ちびっ子ゲレンデも設けられました。子供から大人まで楽しめる公園です。

公園展望台から日本第2位の大きさで墳丘の体積は国内第1位の前方後円墳の応神天皇陵古墳や仲姫命陵古墳、允恭天皇陵古墳、墓山古墳、白鳥陵古墳等をパノラマにて望むことができます。



柏原市立玉手山公園



柏原市立玉手山公園



玉手山公園から古墳群を望む

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

かしわら森の会は、2015年から柏原市の自然観察の団体として結成してとりくんできました。

令和元年には柏原市から「柏原市立玉手山公園の梅林の南側に市の森林があり、整備してもらえませんか」という提案があり、令和元年3月には市と「覚書」を結んで、柏原市立玉手山公園の一部で森林を「玉手山こども体験の森づくりプロジェクト」として整備活動にとりくむことになりました。

整備している森を「いぶらの森」と名付け、親子対象の「森の音楽会」、「森でネイチャーゲーム」などのイベントを開催しています。整備で出てくる木材は廃棄せず、斜面地のステップ材や子どもに体験させるための椎茸栽培用の原木として再活用しています。子どもたちに森の中に落ちている落葉で葉づくりやドングリの種類の観察や工作教室を開催しています。



整備の様子



「森の音楽会」



森で子ども達が遊ぶ様子

かしわら森の会／柏原市 大阪府 柏原市

3 活動の成果や波及効果等

「いぶらの森」では、コバノミツバツツジが自生していて、昔から「万葉ツツジ」と愛称されています。地域には「万葉つつじクラブ」という保存会もあり、植樹活動を共にしています。

令和元年から「いぶらの森」での「里山の森づくり」整備が3年を経て一定の目標を達成し、森での活動やイベントへの参加も令和元年度701人、令和2年度713人、令和3年度390人となりました。また「いぶらの森」活用への他の団体や学校などから期待が寄せられるようになってきています。



万葉つつじクラブとの植樹活動



親子の昆虫観察会



イベント用マップ



間伐材で
手作り樹木名プレート

喜びの声



受賞者
かしわら森の会
代表
三浦 誠

コメント

森林整備のためには、森の資源の活用や手作りがあたりまえのこととして取り組んできましたが、今回の受賞によりそのようなことが大切なことなんだと改めて自覚することができました。

作業でのリスクやコロナ禍のなか、皆さんと汗を流してきた甲斐があったと喜んでます。

活動の内容

- 森林整備
- 各種イベントの実施
- 植樹活動

活動の経歴

- 平成27年 かしわら森の会設立
- 平成31年 柏原市と「覚書」を結び、整備開始
- 令和3年 「おおさか環境賞」奨励賞 受賞
- 令和4年 国土緑化推進機構・理事長賞 受賞

所在地 大阪府柏原市円明町(柏原市立玉手山公園)

活動主体及び連絡先 柏原市国分本町
事務局 榎谷 政則 TEL:072-977-7677

対象となる社会資本 柏原市が所有する玉手山公園の一部の森林

